



岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

県営名古屋空港の利便性を活かすために、国際線の再誘致に向けて尽力します。



教育長人事、今後の町長の対応は

Q

3月定例会での教育長人事案の否決には議会としての理由があるが、それ以上に、町長が人事に真剣に向き合い、議会と信頼関係を築こうとする姿勢が見られないことが問題である。町長の今後の議会への対応方針を問う。

A

教育長人事案の否決について、議会の皆さまが真剣にご議論された結果であることを重く受け止めている。

教育は町の未来を担う重要な分野であり、その人事には、慎重な判断が求められることは十分に理解している。新たな人事案については、丁寧な情報提供と事前の意見交換を行い、次の定例会までに改めて提案できるよう準備を進めていく。

国際線の再誘致を

Q

町長のマニフェストには、名古屋空港の利用促進の方針が示されているが、令和7年度予算には具体的な施策が見受けられない。私は、県営名古屋空港への国際線再誘致を提案する。

町長が本気で「空港を軸にした町づくり」を考えるのであれば、国際線再誘致に向けて、現実的に取り組むべきではないか。

A

県営名古屋空港が小型航空機の拠点として、その機能を果たしていくとともに、本町が「ヒコキのまち」として発展するように取り組む。国際線の再誘致に向けては、現段階で具体的に言うことは困難である。将来的に新たな機能が求められることになれば、必要な役割を果たしたい。

今後の財政運営の方針を問う



水野 晃 議員

MIZUNO Akira

豊山町の健全な財政状況をどのように維持していくのか町長の考えを確認した。

Q

建設コストの高騰に対してどのような対策を講じているのか。

A

施設整備の事業発注にあたっては、最新の単価で積算を行うとともに、維持管理に係る経費については複数の業者から見積書を徴収したうえで、指名基準に基づいた複数の業者を指名し、適切な経費での執行に努めている。

Q

新しい公共施設等総合管理計画について、コンセプトなどはどのようなになっているのか。

A

この計画は公共施設などに係る個別施設計画の上位計画として位置づけ、維持管理や更新を計画的に行うため、財政負担の軽減・平準化を図ることを目的に策定するものである。計画期間については、総務省の指

針に基づき、現行の計画と同じ10年間を想定している。

Q

健全財政を持続的に守っていくために、町長はどのような覚悟と方針で財政運営に臨まれるのか。

A

健全な財政状況を維持していくことは、町政を進めていくうえで大きな課題であると考えており、責任感を持って財政運営を行っていく。

今後は、引き続き既存事業の見直しの徹底や事務の効率化に取り組みながら、町民の暮らしを最優先にした財政運営を行う。特に、施設の老朽化対策などの投資的事業については、町民のニーズを反映したものであるのか、適時適切に優先順位を見極め、国・県補助金などを最大限活用し、財政負担の軽減・平準化を図りながら、限られた財源を配分していく。



健全な財政運営を